

2024年度事業計画書

1 活動方針

2023年度事業を継続・発展する形で実施。とくに、連携・協働の基盤となる対話の場の開催を重視する。また、5周年を機に新たに資金支援の仕組みを構築する。

(1) 5年間の振り返りと成果の発信

2024年4月25日でサポートオフィス開所（設立は4月8日）から5周年を迎える。これまでの5年間の振り返りと成果の発信を行う冊子の発行及び記念イベントを開催する。また、5周年を機に、設立以来開催している団体の基盤強化プログラム「まちだづくりカレッジ」をはじめとする講座の振り返りと新たな講座の検討をすすめる。

(2) 資金支援の仕組みの構築

寄付を原資として、町田市内の地域活動を支援する基金を新たに設置する。活動する個人・団体、応援したい個人・団体（寄付者等）の関係構築にもつながる仕組みとし、志を応援しあえるまちづくりをめざす。

(3) 連携・協働の基盤となる対話の場を広げる

協働して取り組むべき課題（バリアフリー、SDGs等）をとりあげた講座や対話の場をまちカフェ！オープンデー（毎月第1木曜日町田市役所2階市民協働おうえんルーム）で開催し、「誰一人取り残さない」まちづくりの実現につなげる。

2 事業計画

(1) コーディネート事業

ア 相談・伴走支援

顕在化していないニーズや事業の方向性の整理を支援し、関係者や関係機関とのコーディネートなどを行うことで、事業の実現につながる継続した伴走支援を実施する。

【実施目標：相談年間150件以上】

イ 協働事業の支援

- ・協働事業を生み出す場の開催（まちカフェ！オープンデー、地区別オープンデー等）を通じて協働事業の運営支援を実施する。平日日中の参加が難しい層のニーズも考慮し、夜間開催も実施する。また、まちカフェ！オープンデーでは、市役所開催という点を活かした行政各課の事業理解につながる講座も検討する。

【実施目標：年間10件以上】

- ・2023年度に試行的に実施した地区別オープンデー（忠生、高ヶ坂・成瀬、相原、鶴川）の振り返りや、「寄り合い-The YORIAI-」や地域で行われる対話の場の実施状況を踏まえ支援を広げていく。特に具体的な事業が立ち上がった地区について重点的に支援を実施する。

【実施目標：対話の場への参加、事業への支援の実施】

- ・地域団体と教育機関（学生）との連携を促進し、地域活動の担い手を拡充する。

【実施目標：授業・プログラムの実施 2件以上】

(2) 情報収集及び発信事業

ア 5周年誌の作成

サポートオフィスの5年間の振り返り及び、町田の地域活動の現状をまとめた5周年記念誌を発行する。

【実施目標：発行年1回／1, 500部】

イ 広報誌の作成

サポートオフィスの事業、市内で活動する団体の紹介等を掲載する他、サポートオフィスの知見等を取りまとめて発信する（例：広報、若者の参加、助成金等）。5周年誌を発行するため、通常版（A3二つ折り仕上げりA4 4ページ）を7回、簡易版（A4両面 2ページ）を3回発行する。

【実施目標：発行年10回以上／各回1, 500部】

ウ ホームページ運営及びSNS・メルマガ等を活用した情報発信

・ホームページ上に市内外の活動事例、知見、サポートオフィス主催講座の報告を記録し、参加者以外も活用できる情報としてストックする。

【実施目標：100件】

・SNSの双方向性を活かした情報発信を充実させる。ニーズや状況に即した新たなツールの導入も検討する。

【実施目標：SNSの双方向性を活かした情報発信の充実および導入SNSの検討】

(3) 地域活動を行う組織の基盤強化及び人材育成事業

ア 講座開催

2023年度に引き続き、チラシづくり、SNSの活用等団体の活性化につながる講座に加えて、2024年度は、協働して取り組むべき課題（バリアフリー、SDGs等）をとりあげた講座の開催や対話の場を設けていく。また、市内の他の支援組織やネットワーク組織を通じて、様々な団体を対象とした団体の基盤強化のための講座を展開する。

また、2022年度から実施している市内で活動する方が登壇するトークセッション形式のイベント「みんなの経験共有会」の開催を通じて、団体同士の学び合いを促進する。特に2024年度は、町田の地域活動の実績を経験者から聞き、団体の運営に活かせる点を明らかにする内容を開催する。

【実施目標：13回】

イ まちだづくりカレッジ

サポートオフィス設立以来実施している連続講座「まちだづくりカレッジ」は、団体支援と個人支援の2つのプログラムを設置する。個人支援は、2023年度試行実施した「地域ではじめる小さなしごとづくりセミナー」をまちだづくりカレッジのプログラムとして構築する。あわせて、これまでの振り返りと新たな講座の企画検討を実施する。

【実施目標：連続講座2回】

- ウ シンポジウム「まちだづくりサロン特別編」
市内活動団体の横のつながりづくり及び地域活動の裾野を広げることを目的に、外部講師を招聘して、社会状況や地域活動について広い視点でとらえることができるシンポジウム「まちだづくりサロン特別編」を開催する。

【実施目標：1回】

エ 町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

- ・町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」を各団体が新たな取り組みや協働事業を試験的に実施する場として位置づけ、必要な資源の提供、団体間の連携・協働の促進のためのプログラムや個別のマッチングを実施する。この取り組みをもって協働事業への発展を目指す。

【実施目標：協働による企画の実施10件】

- ・市内の類似イベントとの連携を進める。

【実施目標：1回】

- ・まちカフェ！全体企画、参加団体支援を行うボランティアとして「おうえん隊」を広く募集し、地域活動への参加を促進する。2022年度から開始したワンデイおうえん隊、2023年度から開始した取材おうえん隊など若手社会人などが参加しやすいプログラムを拡充する。

【実施目標：学生おうえん隊の実施1回・ワンデイおうえん隊・取材おうえん隊各1回】

(4) 地域活動に関する調査研究事業

ア 支援体制の強化に向けた調査事業

- ・まちカフェ！参加団体を中心にヒアリング調査を行い、アンケートとあわせて町田市内の団体の運営課題や町田市内の地域課題の把握をすすめる。

【実施目標：10団体】

- ・2023年度に実施した「市民活動・コミュニティ活動の実態調査」の結果を分析し発信する

【実施目標：1回】

- ・市外中間支援組織の支援状況の把握や他市との連携を強化するため、ヒアリングや研修・会議への参加を行う。

【実施目標：3回以上】

- ・行政や市内の大学、企業に対して、協働事業の運営支援のニーズをヒアリングする。

【実施目標：2団体】

(5) 資金調達事業

ア 地域活動の資金支援の仕組みの構築

寄付を原資に基金を設置し、市内で活動する個人・団体への助成を行う。あわせて基金を継続的に運営するために広く寄付を募集する仕組みも構築する。

【実施目標：助成の実施と寄付募集の仕組みの構築】

- イ 助成金講座と個別支援を組み合わせた支援プログラムの実施
まちだづくりカレッジの見直しと並行して、ニーズの高い助成金をテーマにした講座と個別支援を組み合わせたプログラムを検討し、実施する。
【実施目標：プログラムの実施2回】
- ウ 活動団体のファンドレイジング（クラウドファンディング、助成金申請、寄付募集など）の伴走支援を実施する。
【実施目標：7団体】

(6) その他

- ア 「ふだんの活動にプラスON 交通安全・防犯協働事業」
市民生活安全課からの委託で実施している「ふだんの活動にプラスON 交通安全・防犯協働事業」を継続実施する。3年目となる2024年度は、過去の支援対象団体へのヒアリングも実施する。
- イ 法人の運営体制の整備
設立5年目となり、また新たに基金の事業を開始することもあり、信頼できる組織づくりをすすめていく。また、信頼の基盤となる職員が働きやすい職場づくりをすすめる。